



探究ニュース Access No. 35

発行日 令和6年4月26日



目次

- I 49期 探究基礎オリエンテーション
- II 48期 課題探究(C探究)スタート
- III 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

I 49期 探究基礎オリエンテーション

4月11日に、探究基礎のオリエンテーションが行われました。

自分が探究する対象を知り、問いを立て、知識を広げ深めていく活動の第一歩です。

これまでの調べ学習と「探究」の違いや今後の探究基礎授業の流れ・目的などについて全体で説明を受けた後、クラスごとに以下の5つの探究の基礎活動を体験しました。



① 図書館ガイダンス

自ら調査するスキルや情報リテラシーを身につけるための、図書館ガイダンス。

図書館の利用法、資料検索のコツ、学習への活用法など、図書館の使い方を広く学びました。司書の先生から「あすなろ文庫」や高校1年生にぜひ読んでほしい図書の紹介もありました。



② バタフライチャート・トライアングルディベート

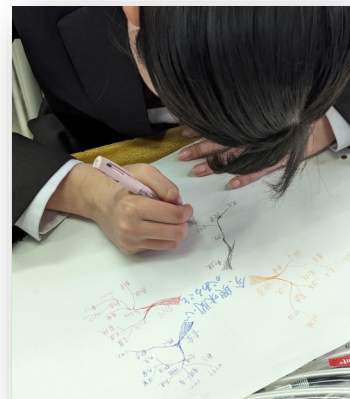
「死刑制度を廃止すべきか」をテーマに、賛成意見と反対意見の両方を蝶の羽に記入し、互いに見合って更に補完。次に3人1組になって意見を述べ、質問に答えました。このとき1人2回、それぞれ賛成側と反対側の両方の立場に立って意見交換を行いました。

情報を整理する方法を学び、またディベートの表現方法や多角的な視点を身につけました。

③ 概念マップの作成

「今、興味・関心があること」をテーマに、そこから枝を伸ばして思いつくキーワードを書き込んで広げていきます。その後、お互いのマップを見て、新たな視点を自分のマップに追加。

高校で学ぶのが楽しい教科、部活、好きなアニメ、スポーツ…
発想を多様に膨らませ、自分の思考を一つの紙にわかりやすく表現する手法を学びました。



④ 知識構成型ジグソー法の体験

ジグソーパズルのように分割と集合を繰り返しながら議論や思考を深めるジグソー法。最初に4人グループを作り、それぞれの役割分担を決めます。次に分担毎にチームを作り、資料を考察。各々が「エキスパート」となって考察結果を持ち帰り、グループ内で共有します。

授業後半では、「カタクリ」の植生が他の植物と異なることの不思議について、それぞれの資料を持ち寄り考察を深めました。



⑤ 「文章の書き方」グループワーク

活動のまとめとして、「③ 概念マップの作成」で見つけた自分の興味・関心の中から、各自が「今、知りたい、わかりたいこと」をテーマにグループ内で発表しました。お互いにたくさんの「問い」を重ねることで、考えや表現の幅が広がることを実感しました。その後、キーワードやトピックをまとめ、再構成したものを発表し、文章にまとめました。

小さな問いから気づきを得て、文章が次々に書けるようになることを実感したようです。

Ⅱ 48期 課題探究(C探究)スタート

4月15日、48期生に向けてC探究へと進むためのオリエンテーションが体育館で開かれました。2学年となった48期生は、1年次の探究基礎で取り組んだA探究、B探究を土台として、個人単位でのC探究と論文作成に取り組んでいきます。

オリエンテーション前半では、探究の目標や1年間のプログラム、論文評価ルーブリック、ゼミ活動について説明を聞きました。後半は3人一組になり、事前に作っておいたプロットシートを用いて自分の探究テーマについて順番に発表し、お互いに質問シャワーを行いました。今回気づいたことを基に、5月から始まる仮ゼミでのテーマ発表に向けて、プロットシートを練り直していきます。



～ C探究の一年間の流れ～

48期生はこの一年間、1年次に身につけた探究プロセスを用いて個人研究を実践します。

テーマは「問いの鋭角化」。1学期は、仮ゼミでプロットシートを用いて自分のテーマを発表するとともに、関連する学問分野について整理し、本ゼミ選択に向けた準備や研究計画の作成を行います。夏からは生徒が中心となって運営するゼミ別の活動となって本格的な調査に入り、2学期以降、自分の所属する本ゼミでメンバーとともに各自で探究を深めていきます。

11月6日に行われる中間発表会を経て、各自が書いた論文の修正を繰り返し、3月15日に成果発表会を行います。

この流れを念頭に、計画的に研究を進めていきましょう。

Ⅲ 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

東京大学 金曜特別講座

【希望者 オンライン】

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部による「高校生と大学生のための金曜特別講座」が今年もオンラインで開講されています。興味のある分野の講座には、ぜひ参加してみましょう。

今年度から新たに参加を希望する人は、Teams HSCの配信を参照してください。



- | | |
|--------------------------------|---|
| 4/19 (金)
17:30-19:00 | 火星環境大変動：宇宙における生命の謎に迫る
黒川 宏之 東京大学 教養学部 学際科学科・准教授 |
| 4/26 (金)
17:30-19:00 | 源氏物語の作者を知っていますか
高木 和子 東京大学 文学部 人文科学科・教授 |
| 5/10 (金)
17:30-19:00 | 「水道」を科学する ―多様な水供給から考える持続可能な未来―
小熊 久美子 東京大学 工学部 都市工学科・教授 |
| 5/17 (金)
17:30-19:00 | 物理で見る生物学：個体発生の生物物理学
石原 秀至 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授 |
| 5/24 (金)
17:30-19:00 | 感じる歴史 ―五感と感情で読み解く歴史と文化
久野 愛 東京大学 大学院情報学環・学際情報学府・准教授 |
| 5/31 (金)
17:30-19:00 | 言語政策について考える ―ことばの規範の構築と変容―
本林 響子 東京大学 教養学部 教養学科・准教授 |
| 6/7 (金)
17:30-19:00 | 小さな微生物の大きな力 ―微生物からのすばらしい贈り物―
葛山 智久 東京大学 農学部 応用生命科学課程・教授 |
| 6/14 (金)
17:30-19:00 | 都市を「観る・読む」―絵画と文学に描かれたロンドン
大石 和欣 東京大学 教養学部 教養学科・教授 |
| 6/21 (金)
17:30-19:00 | ウイルスと人とワクチンと ―コロナ・麻疹など―
東京大学生命科学シンポジウムとのコラボ企画
竹田 誠 東京大学 医学部 医学科・教授 |
| 6/28 (金)
17:30-19:00 | 「争わない社会」への国際協力
佐藤 仁 東京大学 東洋文化研究所・教授 |
| 7/5 (金)
17:30-19:00 | コードの悩みから社会の“不便”がみえてくる ～障害とは何だろう～
*コード(CODA)とは、きこえない/きこえにくい親をもつこえる子ども
中津 真美 東京大学 多様性包摂共創センター・特任助教 |
| 7/12 (金)
17:30-19:00 | 「スペイン語はかんたん」説を文化史的に考察する
―日本の大学における教養主義・文学・外国語
棚瀬 あずさ 東京大学 教養学部 教養学科・准教授 |
| 7/19 (金)
17:30-19:00 | 鳥の言葉を解き明かせ！～動物言語学の挑戦～
鈴木 俊貴 東京大学 先端科学技術研究センター・准教授 |

高倉小学校 放課後子ども教室 高校生メンバー募集

本校のお隣、八王子市立高倉小学校の「放課後子ども教室」では、小学生と一緒に遊んだり、勉強を教えてあげたりする高校生メンバーを募集しています。

将来、教育系に進みたい人にとっては、机上では得られない学びを知るよい機会です。

詳しくはTeams HSCでお知らせしますので、興味がある人は探究部まで申し出てください。

1・2年生向け講演会(5月13日 探究授業時) ※在校生は放課後に質問できます!
論理的に考えるということー「探究」スタートに向けてー
講師 大阪大学医学部名誉教授 仲野 徹 先生

5月13日の探究の授業は、大阪大学医学部名誉教授 仲野徹先生による講演会です。48、49期生の皆さんだけでなく、47期生の希望する生徒も講演を聞くことができます。

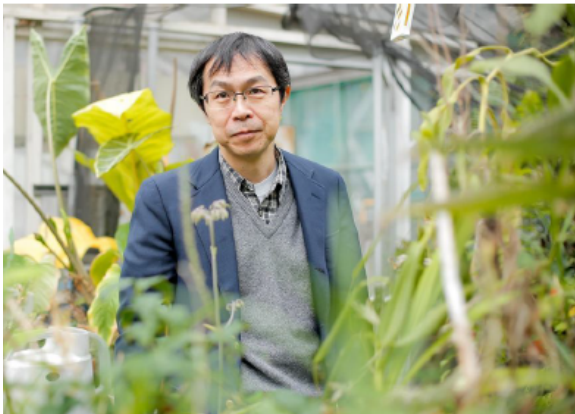
仲野先生は、大阪大学医学部を卒業後、ヨーロッパ分子生物学研究所(EMBL)研究員を経て、京都大学医学部助手・講師をされていました。大阪大学に移られてからは、微生物病研究所遺伝子動態研究分野教授、医学系研究科病理学、生命機能研究科教授を歴任されました。研究者としての活躍はもちろん、一般向けの書籍も多く執筆されています。

放課後、希望する生徒は生物室で仲野先生に個別に質問することも可能です!



理数研究校 第一回生物セミナー 5月11日(土)午後2時～ **【希望者】**
昆虫少年が植物学者になった筋道とその後
講師 植物学者 東京大学教授 塚谷 裕一 先生

理数研究校企画、生物セミナーのお知らせです。講師の塚谷先生は、発生生物学や系統分類学の分野で日本を代表する植物学者です。生物学や大学での研究に興味がある人、自身の進路に迷っている生徒は奮って参加しましょう。希望者は、Teams HSCで配信済のFormsから申し込んでください。



第二回

6/1(土)午後 川上和人先生

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所鳥獣生態研究室長
 研究分野: 島嶼生物学、鳥類

第三回

6/8(土)午後 海部健三先生

中央大学法学部教授

研究分野: ウナギの保全と持続的利用を目指した保全生態学的研究

詳細は随時更新していきます。お楽しみに!

今後も様々な講座を企画・お知らせしていきます。ぜひ積極的に参加して、視野を広げましょう!